

平成26年度 第1回中小企業振興会議 議事要旨

日 時	平成26年8月6日(水) 午後6時15分から午後7時15分まで
場 所	クリエイション・コア東大阪 南館3階技術交流室A
出席者	<p>○中小企業振興会議委員 阿児委員、上田委員、太田委員、大西委員、大本委員、角井委員、角本委員、糸野委員、小杉委員、園田委員、高橋委員、田中委員、寺尾委員、中嶋委員、西田委員、平井委員、文能委員、丸谷委員、森田委員、矢沢委員、脇田委員</p> <p>○事務局 大林経済部長、米谷経済部次長、辻井労働雇用政策室長、望月経済総務課長、巽モノづくり支援室次長、出口商業課長、久保労働雇用政策室次長、紀先農政課長、田中経済総務課総括主幹、森脇経済総務課主査、野下モノづくり支援室主査</p>
案 件	<p>1. 各部会における進捗報告について</p> <p>2. H25 中小企業振興施策に関する実施状況の報告について</p>
議事要旨	<p>開会</p> <p>○案件1【各部会における進捗報告について】 報告1に基づき、糸野モノづくり支援施策のあり方検討部会長より、モノづくり支援施策のあり方検討部会の報告を行った。報告2に基づき、中嶋地域商業の魅力と活力の再生検討部会長より、地域商業の魅力と活力の再生検討部会の報告を行った。報告3に基づき、上田農業振興検討部会長より、農業振興検討部会の報告を行った。</p> <p>○案件2【H25 中小企業振興施策に関する実施状況の報告について】 資料1に基づき、望月経済総務課長より、H25 中小企業振興施策に関する実施状況の報告について説明を行った。</p> <p>【以下質疑応答】</p> <p>(委員) 条例を制定した一番の効果が、実施状況の報告になる。実施された施策が、効果があったのか、なかったのか、その分析検討を踏まえて翌年の予算・事業執行につなげていくことが、効果のある施策を展開していくことに繋がる。そのための条例制定であったと私は考えている。今回の報告では、例えばNo.1の事業について、「住宅・工場間における相隣環境対策支援件数」を指標とし、それに対し、H25年度の目標が5件、実績が2件であった。そして引き続きH26年度の目標を5件としている。目標を達成できなかったわけだが、それに対して、H26年度に向けた改善策について、「PRをさらに積極的に行う」とだけ記載されている。もし、このような報告が我が社でなされた場合は、やり直した。どのようなツールを用い、どのようにPRするのか、重点について、市民がわかりやすいように踏み込んで記載いただきたい。</p> <p>(事務局) いただいたご意見に対しては真摯に受け止めてまいります。ご指摘を踏まえ、今後検討課題につきましては、具体的に記載してまいります。</p> <p>(委員) No.1の事業について、H25年度2件の実績があったわけだが、どのような案件で、どのような支援を行ったのか、具体的に記載することはできないのか。</p> <p>(事務局) 個別具体の事案について、具体的な内容を公表することは困難である。今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>(委員) No.2の事業について、H25年度目標3件に対して、実績が0件の実績であったわけだが、どうして0件であったのかということは、もう少し詳しく記載いただきたい。また、先ほどの説明の中で、「市民満足度調査」のアンケート調査結果の数値の説明があったが、本調査について資料は配布されているのか？</p> <p>(事務局) アンケート調査結果についての資料提示は行っていない。ご要望があれば、後程ご提示させていただきます。</p> <p>閉会</p>